



《東小学校ホームページ》 www.school.umic.jp/higashi/ もご覧ください。(最新情報ほぼ毎日更新中)

R6年1月～12月 HP 更新回数 お陰様で長野県内小中学校初1000回超え更新 HP アクセス回数最多更新中 ぜひご覧ください!

『カモーンひがしこタイム』コミュニケーションにて新たな風を!



今年度より本校にもコミュニケーションルームが開設され、様々な活用方法について試行錯誤を繰り返しながらも、新たな取組が展開されています。12月からは休み時間に「カモーンひがしこタイム」が開催。1月にも2月にも開催予定です。対象学年を1回目は1年生と6年生、2回目は2年生と4年生と6年生、3回目は3年生と5年生と6年生と開催してきました。毎回多少内容の変更はあるものの、主にコミュニケーションルームでは「坊主めくり(『小倉百人一首』を使って)」、視聴覚室では「カルタとり(『真田氏カルタ』を使って)」や「折り紙」、廊下では「お絵描き(壁に模造紙を貼って)」や「ドミノ倒しづくり」をやっております。地域の皆様(学校運営委員・民生児童委員・ひんがし応援隊の方含む)をはじめ、保護者の方(PTA有志の方)、地域貢献・地域参画に興味をもっている高校生等多士済々の方々がたくさんこのコミュニケーションルームにかけつけてくださっています。特に12月の第1回目「カモーンひがしこタイム」の様子はUCVでも取材に来られ、放映されましたので、皆さんもイメージもつかまれているかと思います。参加された方々は大人の方も子供たちもみんな笑顔!だったのが印象的でした。まさに、何とも言えぬ「ホッコリする」時間が過ぎていきました。

[UCVの動画のQRコード→](#)



合唱班:ヴォーカルアンサンブルフェスティバル



管楽器班:小学生アンサンブル交歓会



合唱班は、1月25日(土)に上田市文化会館で行われた「ヴォーカルアンサンブルフェスティバル」に、そして管楽器班は、2月8日(土)にサントミューゼで行われた「小学生アンサンブル交歓会」にそれぞれ出場しました。少人数でステージに立つため、緊張している様子も見られましたが、こうやってアンサンブルというかたちで音を聞き合い、よりよい演奏を共に目指していく姿勢はとてもステキで貴重な機会でした。アンサンブルには指揮者がいません。出だしをどうするか、テンポが変わる時どうするか、強弱を変える時どうするかなど、自分たちで息を合わせて、お互いの音を聴きながら声や音を奏でないと、アンサンブルの演奏はバラバラになってしまいます。メンバー同士がよい人間関係を保ち、集団での自分の役割をきちんと果たすことを中心にしてしっかりと頑張ってくれましたね。とても素晴らしいかったです。【講師の先生の講評はHPに掲載】



児童総会・児童会新旧役員引継～6年生から5年生へ 新しい一步～



2月3日(月)に本年度のまとめと次年度への引継となる児童総会がおこなわれました。後期委員長の皆さん、一年間の活動を振り返りと来年度へ向けてについて、丁寧に説明をしてくれました。児童総会の後半は、来年度児童会新役員となる5年生がステージ前に立って紹介されました。実に凛々しい姿でした。最後は、5年生の各委員会新三役の前に、6年生の後期委員長が向かい合って立ち、児童会ファイルを引き渡すという引継セレモニーが行われました。上級生はいい案を企画し、下級生に優しくする。下級生は上級生に信頼を寄せるとともに、憧れをもつ。6年生の姿はまさにそれでありました。「児童会のバトン」とともにきっと「憧れのバトン」もしっかりと引き継がれ、5年生も下級生から憧れる存在になってくれると思います。

「スクールセクハラ防止」「いじめ体罰防止」「悩みごと」相談窓口は保健室/校長・教頭

過日は、学校評価に関わる保護者アンケート(体罰アンケートを含む)にご協力いただき、ありがとうございました。回答していただいた内容については、校長・教頭がすべて確認させていただきました。確認していく中で、体罰に関わる事案はありませんでした。

しかし、今回はご指摘がなかったと安易に受け取るのではなく、ちょっとした行き違いや相手の見方や捉え方によっては、学校や教師に対する不信感につながっていくことを常に自覚・自戒していかなければならないと思っております。特に教師が何気なく投げかけた言葉によって、時には子どもが想像以上に傷つくこともあるということも十分に承知して対応していかなければならぬないと感じております。今後も保護者の皆様からの様々なご意見を全職員でしっかりと受け止め、子どもに寄り添った声掛けを心がけて、子どもとのよい関係づくりを進めていきたいと考えております。

「体罰」は、学校教育法第11条で明確に禁止されている違法行為です。何としても学校現場から体罰を根絶しなければなりません。今後も児童の人権を守り、教育に対する信頼を共に築き上げていくため、努力していきたいと思っております。今後、もし「体罰」に関わる相談がありましたら「いじめ・体罰防止」相談窓口の校長・教頭、または「スクールセクハラ防止」「悩みごと」相談窓口の保健室までお知らせください。左記の窓口でも相談ができますので、ご承知おきください。

宛 先 長野県教育委員会義務教育課
「体罰に関する相談窓口」宛
住 所 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2
電 話 026-235-7426(直通)
F A X 026-235-7494
E-mail taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp

「地域とともに子どもを育て育つ学校」をめざして第3回CS学校運営委員会

1月28日(火)に第3回 CS学校運営委員会が開催されました。「本年度の取組の成果と課題、来年度の方向」「本年度の学校自己評価」「本校の教育活動へのご意見・要望」が主な内容。「学校をひらく」ことを試み、地域と手を取り合って未来へつなぐ学校づくりをしたらよいかをこの学校運営委員会のメンバーの方々と考え続け、それを次々と実行に移すことができました。参加された方々からは、昨年度と今年度の取組

について、大変高評価をいただき、それぞれの取組のよさや効果・子どもたちの成長ぶり、地域の方々へ与えた好影響についてもご意見をたくさんいただきました。学校は、常に「子ども」と「地域」を見て、学校運営をしていきます。今後もこの学校運営委員会の場(...いつでもどこでも)で、知恵を出し合い、子どもたちにとってよりよい活動が展開できるようにしていきたいと思います。

